

平成 25 年度 第 12 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録

開催日時 平成 25 年 7 月 18 日（木） 午後 7 時～8 時 30 分
開催場所 福島コミュニティーセンター
参加者 市民 11 人

＜フリートーク（意見交換）＞

- 1 「道の駅」の整備について
- 2 下水道・道路の整備について
- 3 信号の設置について
- 4 岩間駅東大通り線の進捗状況について
- 5 河川敷道路の舗装について
- 6 農業用水の送水について
- 7 産婦人科の設置について
- 8 寄付について

＜内容＞

1 「道の駅」の整備について

【意見等】

潮来から笠間に行くときに国道 355 線の福島地区は、休憩所としてちょうどよい位置にあると思うので、農産物の直売所やコミュニティスペースを備えた「道の駅」の整備について、笠間市と水戸土木事務所で協議してもらいたい。人と物とお金が交流することは、地域の活性化につながる。国道 355 号沿線は無指定地区のため量販店・企業等も誘導しやすい場所であると思う。

また、友部 IC についても、笠間方面へ向かう車ばかりで友部・岩間に人が入ってこない。国道 355 線を見直し、友部・岩間への誘導策を考える必要があるのではないかと。

【回答】

「道の駅」については、国道 50 号や国道 355 号への道の駅設置要望の話がありますが、今のところ市では、設置する構想はありません。国道 355 号については、現在 J A が 2 か所で農産物販売を行っており、それらとの兼ね合いについても考慮が必要だと思います。

友部 IC についても、愛宕山への誘導策などを今後、検討していきます。

2 下水道・道路の整備について

【意見等】

柵山西部地区は新しい家が増えてきているので、下水道を整備してほしい。

道路整備についても要望したが、高低差がある地域のため、地形の問題で整備はできないといわれているがどうなのか。

【回答】

下水道整備は、国・県の認可をもらった区域について実施していますので、岩間地区すべてが認可区域ということではありません。下水道の整備には多くの費用がかかるため、今後は整備エリアを見直していく予定です。住宅が密集している地域と、住宅間の距離が離れている地域では下水道整備の費用対効果も変わってきます。柵山地区は現在の下水道整備区域に入っておりませんので、合併浄化槽への補助で対応していきたいと考えております。

道路整備については、区長を通して要望を提出していただくようお願いしています。要望にはできるだけ答えるようにしていきたいと思っております。

3 信号の設置について

【意見等】

国道 355 号バイパスは、交通量が多く横断できないので、信号機をつけてほしい。
また、通行する車のスピードもかなり出ているので、速度規制の標識をつけるか、警察による定期的な取締りをしてもらいたい。

【回答】

信号機設置については、以前から要望があり、市から警察へも要望していますが、なかなかつけられないのが実状です。イトキン脇の交差点から、南に向かって 3 か所の地点に信号機の設置要望を受けていますが、その真ん中に設置する方向で、警察に要望しています。

国道 355 号バイパスは、特に朝の通勤時間帯の交通量が多いので、信号機設置の問題、標識の設置や取締りの件については、地元が困っているということを警察に伝えて、協議していきます。

4 岩間駅東大通り線の進捗状況について

【意見等】

岩間駅東から国道 355 号線までの岩間駅東大通り線は、いつ開通するのか。

【回答】

国道 355 号と交差する場所以外は、用地の協力を含めて順調に進んでいます。
今年度中には、一部工事に入る予定です。

5 河川敷道路の舗装について

【意見等】

七つ橋から小美玉市に入る T 字路までの区間が砂利道なので、簡易舗装してほしい。小美玉市側は舗装されており、サイクリングロードとして整備した。また、コメリの北側付近は、地元の要望で舗装されているので、舗装工事をお願いしたい。

【回答】

巴川の河川敷と一体の道路と思われるので、農地部局との関連や小美玉市側のことなどについて、現地を確認して対応します。

6 農業用水の送水について

【意見等】

石岡台地土地改良区では週に 3 回水を止める。早稲米はこの時期、水が必要なのに止められてしまうため、田んぼが乾いて地割れしてしまう。水を止めるのは毎年のことだが、今年は特に地割れがひどい。水を止める日程の通知は事前にあるが、止められてしまうとこの地区は水持ちが悪いため稲作に支障をきたしてしまう。受益者は水代を払っているのだから、必要な時に水を送ってほしい。石岡台地の担当者に現地を良く見て検討していただきたい。

【回答】

石岡台地土地改良区には、地区で困っているという状況を伝えてます。

7 産婦人科の設置について

【意見等】

市立病院が移転するが、少子化対策として、産婦人科の設置を要望したい。

【回答】

市立病院は 5 年を目途に移転する計画です。今後は、地域医療の中でリハビリ機能の充実について、医師の確保も合わせて取り組んでいく考えをもっています。

産婦人科については、水戸日赤病院でさえ医師の確保が難しいのが実状です。新市立病院の診療科目については、専門家による検討委員会で議論して進めていきたいと思えます。

また、現在の市立病院の医師は 3 名ですが、新しい病院は、ベット数が 30 の規模なので医師は 4 名必要になると試算しています。現在、筑波大の研修医の方にきていただいています。

現状より1名増員しなければなりませんので、さらに連携を深めていきたいと考えています。

8 寄付について

【意見等】

青少年健全育成・交通安全母の会・赤十字・消防後援会など寄付を集めることが非常に多い。最近新しい住民が増えており、寄付に理解を示さないなど、集金するのに苦労する。一部では企業にも寄付をお願いしている状況であるため、行政経費を削減して、寄付に充てるなどの対応をお願いしたい。

【回答】

市から直接、各団体に使う経費が足りないから寄付を集めて活動してくださいと言っているものではありません。市では、必要な補助金を各団体に出しています。

寄付という行為は、強要できるものではありませんが、最近寄付を集めにくくなったという団体からのお話を聞いています。各団体には、寄付が減っていることを踏まえて、事業の見直しをすることも必要であると伝えています。また、各団体から寄付を集める趣旨等については区長会に説明する機会を設けるようにしています。